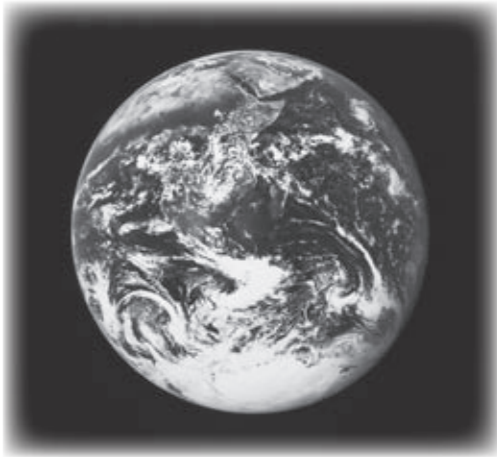


取り組みの目標	エネルギーの合理的、効率的利用が図られ省エネルギー型のライフスタイルが実践されている。
目標達成のための指標	1人1日1kgのCO ₂ を削減する。



6月は環境月間です

6月5日は「環境の日」

できるじやないか？ 始めてみませんか？

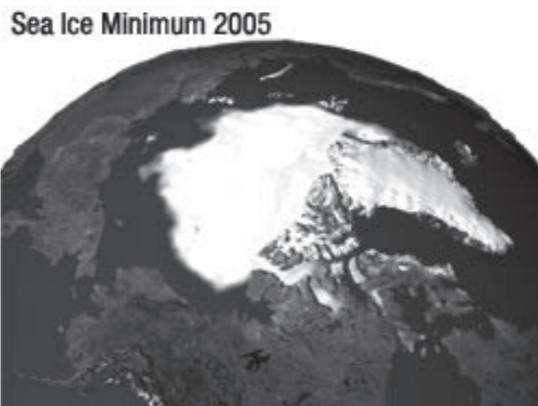
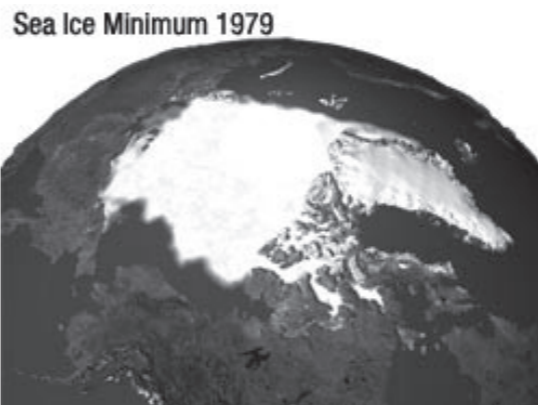
広報もみや5月号で、本市環境基本計画の策定についてお知らせしましたが、今月号から環境基本計画の内容を少しずつ取り上げていきたいと思います。今回は、6月の環境月間にあわせて、地球温暖化対策への取り組みやオゾン層保護対策への取り組みについて取り上げます。

身近なことから、できることから始めることが、地球環境への負荷の少ないまちづくりの第一歩になります。

■地球温暖化対策への取り組み
地球温暖化は、二酸化炭素(CO₂)、メタンなどの温室効果ガスの濃度が高まることで温室効果が強まり地上の気温が上昇する現象です。観測記録によると、地球の平均気温は、19世紀半ばから上昇し続け、20世紀中に0.74度上昇しました。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)からは、2100年までの間に1・1度(6・4度、平均気温が上昇する)という予測も報告されています。気温の上昇に伴い、海水の熱膨張と氷河などが溶けることで、地球の平均海面は、18〜59センチ上昇すると予測されており、海抜が低い国などでは、国そのものが消滅してしまうという危険にさらされています。

地球温暖化を止めるには、大気中の温室効果ガスを安定させる必要があります。対策としては、石油などの化石燃料の使用を控えたり、森林などの吸収源を保全していくことが必要となります。

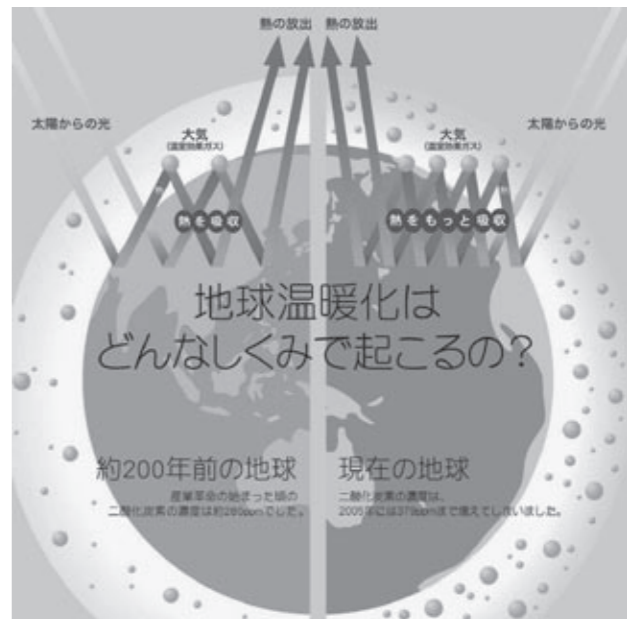
▼溶ける北極・・・ここ数10年では、40%減少しています。



NASAホームページ内「Visible Earth」より
(<http://visibleearth.nasa.gov/>)

●温室効果ガスと地球温暖化のメカニズム

地球温暖化の原因は、温室効果ガスといわれる二酸化炭素(CO₂)やメタンなどのガス濃度が高まり、太陽熱を吸収することで、平均気温が上がるとされる。人間の産業活動が活発になったことや、土地利用の変動も地球温暖化の要因とされる。



全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより
(<http://www.jccca.org/>)

地球温暖化対策のために私たちにできるじやないか？

▼冷房の温度を1度高く、暖房の温度を1度低く
カーテンを利用して、太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れ冷暖房の設定温度を工夫しましょう。



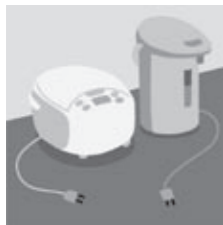
年間約33kgのCO₂削減
年間約1,800円の節約

▼シャワーを1日1分、家族全員が減らす
身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。



年間約69kgのCO₂削減
年間約7,100円の節約

▼ジャーの保温を止める
ポットやジャーの保温は利用時間が長いと多くの電気を消費します。



年間約34kgのCO₂削減
年間約1,900円の節約

▼1日5分間のアイドリングストップを行う
駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。



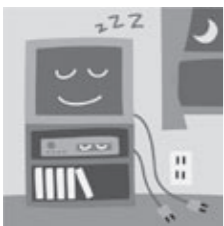
年間約60kgのCO₂削減
年間約3,400円の節約

▼買い物袋(マイバック)を持ち歩く
レジ袋を削減するためにも、マイバックを持って買い物をしてください。



年間約58kgのCO₂削減

▼待機電力を50パーセント削減する
主電源を切りましょう。長時間使わないときは、コンセントを抜きましょう。



年間約39kgのCO₂削減
年間約1,900円の節約

全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより (<http://www.jccca.org/>)

■オゾン層保護対策への取り組み

私たちの地球には、絶えず太陽から紫外線が降り注いでいます。紫外線は、強力なものになると生物のDNAを傷つけ、皮膚がんや白内障を引き起こす有害な光線です。この有害な紫外線から私たちが守っているのが「オゾン層」です。

しかし、このオゾン層が世界各地で薄くなっているという事実が観測により明らかになりました。南極上空では、オゾン層の厚さが半分程度までになっており、オゾンホール(オゾン層の穴)が出来たとの報告もあります。オゾン層を破壊した原因は、フロンという物質です。大気中に放出されたフロンに特定の強い紫外線が当たると、フロンは分解され塩素原子を放出し、オゾンを徐々に分解してしまいます。

このような事態を防ぐためには、これ以上のフロン放出を止めることが大切です。現在は、塩素原子を含まない代替フロンの利用が進んでい

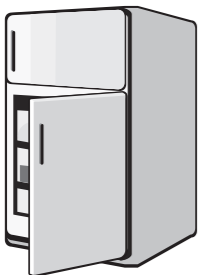
ますが、フロンの製造や利用を止めたとしても、今までに大気中に放出されたフロンによってオゾン層の破壊は進行するので、元の状態に戻るには50年以上もの年月を要すると考えられています。

▼取り組みの目標
フロン類の適正回収、処理が実践されている。

私たちにできるじやないか？

▼フロンを確実に回収するため、不要となったエアコン、冷蔵庫、自動車などは、関係法令に基づき適正に処分します。

▼エアコンなどを購入する際は、ノンフロン製品または地球温暖化等への影響の少ない製品を購入します。



～CO₂削減 ライトダウンキャンペーン～ 《出来ることから・・・コツコツと！》

環境省では、6月21日と7月7日の両日、夜8時から10時までの2時間、全国のライトアップ施設や各家庭のあかりを一斉に消灯していただき、ライトダウンを呼びかけていきます。地球温暖化を考えるきっかけとして、皆様のご家庭でも、ぜひご協力ください。

実施日：6月21日(日) ブラックイルミネーション(夏至の日)
7月7日(火) セタライトダウン(クールアースデー)



◆問い合わせ先
生活安全課
環境保全係

(☎内線114)